**営農技術情報** 暴風雪に備えて

 令和元年(2019)年12月27日

日高農業改良普及センター

　札幌管区気象台によると１２月３１日から１月１日にかけて、北海道地方は強い寒気が流れ込み、強い冬型の気圧配置となります。日本海側を中心に風雪が強く、海は大しけとなる見込みです。

　電線等への着雪に注意し、停電や倒木、農業施設の管理等に注意してください。また、ふきだまり等による交通障害にも注意が必要です。随時発表される気象情報に十分注意し、対応に努めてください。

　札幌管区気象台ホームページ http://www.jma-net.go.jp/sapporo/

【園芸ハウス】

１　栽培中又は収穫後の施設ではビニールやハウスバンド等の各部の損傷やゆるみを点検し、必要に応じて補修等を行う。

２　積雪が多い場合、落雪でハウスの合間が埋まると施設の損傷も大きいのでできるだけ除雪を行う。

３　ハウスの気密性を高め、加温施設はできるだけ室温を高め、天頂面を暖めて落雪を促す。ただし、作物がある場合は可能な範囲で加温を行う。

４　湿った雪は重みで被覆資材がたわみ滑り落ちにくくなるので、早めに雪降ろしを行う。

５　被覆資材が雪の重みでたわんでいるときは、破れの発生や、裂け目が広がり雪の下敷きになる場合があるので、下から棒で突くような作業は行わない。

６　パイプ径が細い耐雪性の弱いハウスでは、筋交い、支持棒等でハウスを補強する。

７　停電に備え、自家発電機や簡易暖房機等を準備し、緊急時に備える。

【酪農】

１　交通障害や停電により搾乳や飼養管理に支障が出た場合の問い合わせ先や対応方法

を確認しておく。

２　前回の搾乳から16時間以内は、搾乳を中止しても乳量や乳質に問題は無い。

３　停電で搾乳が行えない場合、牛舎への出入りを必要最小限にし、牛に搾乳刺激を

与えないようにする。給水が制限される場合は同時に、濃厚飼料の給与は控える。

４　発電装置が手配できる場合は、それらを利用して搾乳・冷却を行う。

【除雪作業等に伴う事故防止】

１　除雪作業中は、子供や他の作業者、車両等に十分注意する。

２　高所の除雪作業を行う場合は一人で行わないこと。また安全策を十分に講じること。